

エマニュエル・カタン

ソルボンヌ大学形而上学講座教授

講演会

Unwesen

——ヘーゲルと物——

通訳・司会 服部 敬弘
文学部哲学科助教

日時 2017年4月20日(木)
15:00 ~ 17:00

場所 同志社大学今出川校地
良心館4階 RY426教室

講演はフランス語で行われますが、当日会場にて日本語原稿を配布します。
また、質疑応答に際しては通訳がつきます。

エマニュエル・カタン (Emmanuel Cattin) ソルボンヌ大学哲学科形而上学講座教授

1966年生。1990年パリ高等師範学校卒。1996年パリ第1大学にて「形而上学の諸変化——シェリング超越論哲学についての試論」で博士号取得。同年クレルモンフェラン大学准教授、2003年研究指導資格論文「理性の肯定——ドイツ的思惟の道」。翌年同大学教授を経て、2015年より現職。

著書(仏語)に『単純性へ——ヘーゲルの現象学』(Vrin, 2010)、『放下——エックハルト、シェリング、ハイデガー』(Vrin, 2012)ほか。邦訳「いまだかつて見た者なき神」(『フランス現象学の現在』法政大学出版社、2016年、所収)。

主催：同志社大学文学部哲学科

共催：科学研究費基盤研究(C)課題番号16K02149「現代フランス現象学に関する日仏共同研究の試み」

連絡先：〔メール〕yhattori@mail.doshisha.ac.jp 〔電話〕075-251-3387 (服部敬弘)